無線LANの利用方法について(Windows8編)

無線 LAN 機能を持ったノートパソコンを学内ネットワークに接続し、インターネットツール(電子メール やホームページ等)を利用することができます。

以下に「Windows 8」での設定方法を説明します。

1. ワイヤレスネットワーク接続の設定



パーソナルコンピュータを起動し、 スタート画面から「デスクトップ」 タイルをクリ ックします。





😼 🛍 🏙 📣 🗛

-

」

 \mathbf{x}

「設定」をクリックします。

「コントロールパネル」をクリックします。ます。 設定 デスクトップ コントロール パネル 個人用設定 PC 情報 ヘルプ ┛ コントロール パネル 「ネットワークの状態とタスクの表示」を (←) → ↑ 🥅 ト コントロール パネル ト クリックします。 コンピューターの設定を調整します システムとセキュリティ コンピューターの状態を確認 ファイル履歴でファイルのバックアップ コピーを保存 問題の発見と解決 ネットワークとインターネット インターネットへの接続 ネットワークの状態とタスクの表示 ホームグループと共有に関するオプションの選択 ハードウェアとサウンド デバイスとプリンターの表示 デバイスの追加 共通で使うモドリティ設定の調整 「新しい接続またはネットワークのセッ ネットワークと共有センター **トアップ」**をクリックします。 👯 « ネットワークとインターネット → ネットワークと共有センター V C => 基本ネットワーク情報の表示と接続のセットアップ レホーム アクティブなネットワークの表示 の変更 現在どのネットワークにも接続していません。 の変更 ネットワーク設定の変更 -1 新しい接続またはネットワークのセットアップ ブロードバンド、ダイヤルアップ、または VPN 接続をセットアップします。 ントをセットアップします。 📑 問題のトラブルシューティング ネットワークの問題を診断して修復します。または、トラブルシューティン





「接続の設定を変更します」をクリックします。

ワイヤレス ネットワークのプロパティ	
接続 セキュリティ	- 「セキュリティ」 タブを選択
セキュリティの種類(<u>E</u>): WPA - エンタープライズ v 暗号化の種類(<u>N</u>): AES v	「ネットワークの認証方法の選択」に て「Microsoft:保護された EAP (PEAP)」 を選択します。
ネットワークの認証方法の選択(<u>Q</u>): Microsoft:保護された EAP (PEAP) ☑ ログオンするたびに、この接続用の資格情報を使用する(<u>R</u>)	 「設定」ボタンをクリックします。
詳細設定(D)	
OK キャンセル	
Ļ	
保護された EAP のプロパティ ×	「サーバの証明書を検証する」のチェ
保護された EAP のプロパティ × 接続のための認証方法:	「サーバの証明書を検証する」 のチェ ックを外す。
保護された EAP のプロパティ 接続のための認証方法: □証明書を検証してサーバーの ID を検証する(\v) □次のサーバーに接続する (例: srv1、srv2、.*¥.srv3¥.com)(Q): □	「サーバの証明書を検証する」のチェ ックを外す。 「認証方法を選択する(S)」にて「セ キュリティで保護されたパスワード (EAP-MSCHAP v2)」を選択する。
	「サーバの証明書を検証する」のチェ ックを外す。 「認証方法を選択する(S)」にて「セ キュリティで保護されたパスワード (EAP-MSCHAP v2)」を選択する。 上記の2項目を設定し「構成」ボタン をクリックします。
K護された EAP のプロパティ 接続のための認証方法: III明書を検証してサーバーの ID を検証する(い) (次のサーバーに接続する (例: srv1, srv2, .*¥.srv3¥.com)(Q): 信頼されたルート証明機関(R): Class 3 Public Primary Certification Authority Microsoft Root Authority Microsoft Root Certificate Authority 2010 Microsoft Root Certificate Authority 2011 Microsoft Root Certificate Authority 2011 Hicrosoft Root C	「サーバの証明書を検証する」のチェ ックを外す。 「認証方法を選択する(S)」にて「セ キュリティで保護されたパスワード (EAP-MSCHAP v2)」を選択する。 上記の2項目を設定し「構成」ボタン をクリックします。
保護された EAP のプロ/Fc/ 接続のための認証方法: 証明書を検証してサーバーの ID を検証する(V) 次のサーバーに接続する (例: srv1, srv2, .*¥.srv3¥.com)(Q): 広のサーバーに接続する (例: srv1, srv2, .*¥.srv3¥.com)(Q): 信頼されたルート証明機関(R): 〇にass 3 Public Primary Certification Authority Microsoft Root Authority Microsoft Root Certificate Authority 2010 Microsoft Root Certificate Authority 2011 Thawte Timestamping CA サーバーの ID を検証できない場合にユーザーに通知します	「サーバの証明書を検証する」のチェ ックを外す。 「認証方法を選択する(S)」にて「セ キュリティで保護されたパスワード (EAP-MSCHAP v2)」を選択する。 上記の2項目を設定し「構成」ボタン をクリックします。
本課表のための認証方法: 「証明書を検証してサーバーの ID を検証する(V)」 「次のサーバーに接続する (例: srv1, srv2, .*¥.srv3¥.com)(Q): 「広のサーバーに接続する (例: srv1, srv2, .*¥.srv3¥.com)(Q): 「信頼されたりレートi証明機關(R): 「Gass 2 Public Primary Certification Authority 「Microsoft Root Authority 「Microsoft Root Certificate Authority 2010 「Microsoft Root Certificate Authority 2011 「Thawte Timestamping CA レーバーの ID を検証できない場合にユーザーに通知します レーバーの ID を検証できない場合にユーザーに通知します 「朝本大学 で保護されたパスフード (EAP-MSCHAP v2)」 「楽いワーク アクセス保護を強制する(N) 「コ・パーに暗号化パインドの TLV がない場合は切断する(E) 「コ・プィバット を有効にする(I)」	「サーバの証明書を検証する」のチェ ックを外す。 「認証方法を選択する(S)」にて「セ キュリティで保護されたパスワード (EAP-MSCHAP v2)」を選択する。 上記の2項目を設定し「構成」ボタン をクリックします。





以上で設定は終了となります。

2. ワイヤレスネットワークへ接続



画面右下のステータスバーの無線 LAN アイコンをクリックします。

接続されていません	49
■ 接続は使用可能です	
ワイヤレス ネットワーク接続	~
jishu01	llee
ネットワークと共有センタ	ーを開く

現在の接続先:
ワイヤレス ネットワーク接続 jishu01 接続
ネットワークと共有センターを開く

設定した自習室のワイヤレスネットワーク名をクリック し**「接続」**ボタンをクリックします。

「接続」と表示されれば、接続は完了しました。

3. 動作確認

正常に学内のネットワークに接続できたかを確認するために以下の URL に接続してください。以下の内容 が表示されれば正常に接続しています。

URL http://www.ycc.u-tokai.ac.jp (代々木情報システム課のホームページ)



この方法で接続できない場合は、以下の窓口までお願いいたします。 場所: 4号館2階 代々木情報システム課 窓口 内線: 4201

以上